
アリウスゲート
ALIUS GATE
－ルナ編－
アラクネの凌辱
本編60P
R18
ADULT ONLY


フフフッ
もっとかわいい声で
泣いてちょうだい
そして私の子を
たくさん生むのよ
私のかわいい
お人形さん♥


行方不明者？
それで見つからないから
あたしに依頼してきた
ってわけか…
分かった
今すぐ向かう
ピッ
よしっ！
ひと仕事行くか！

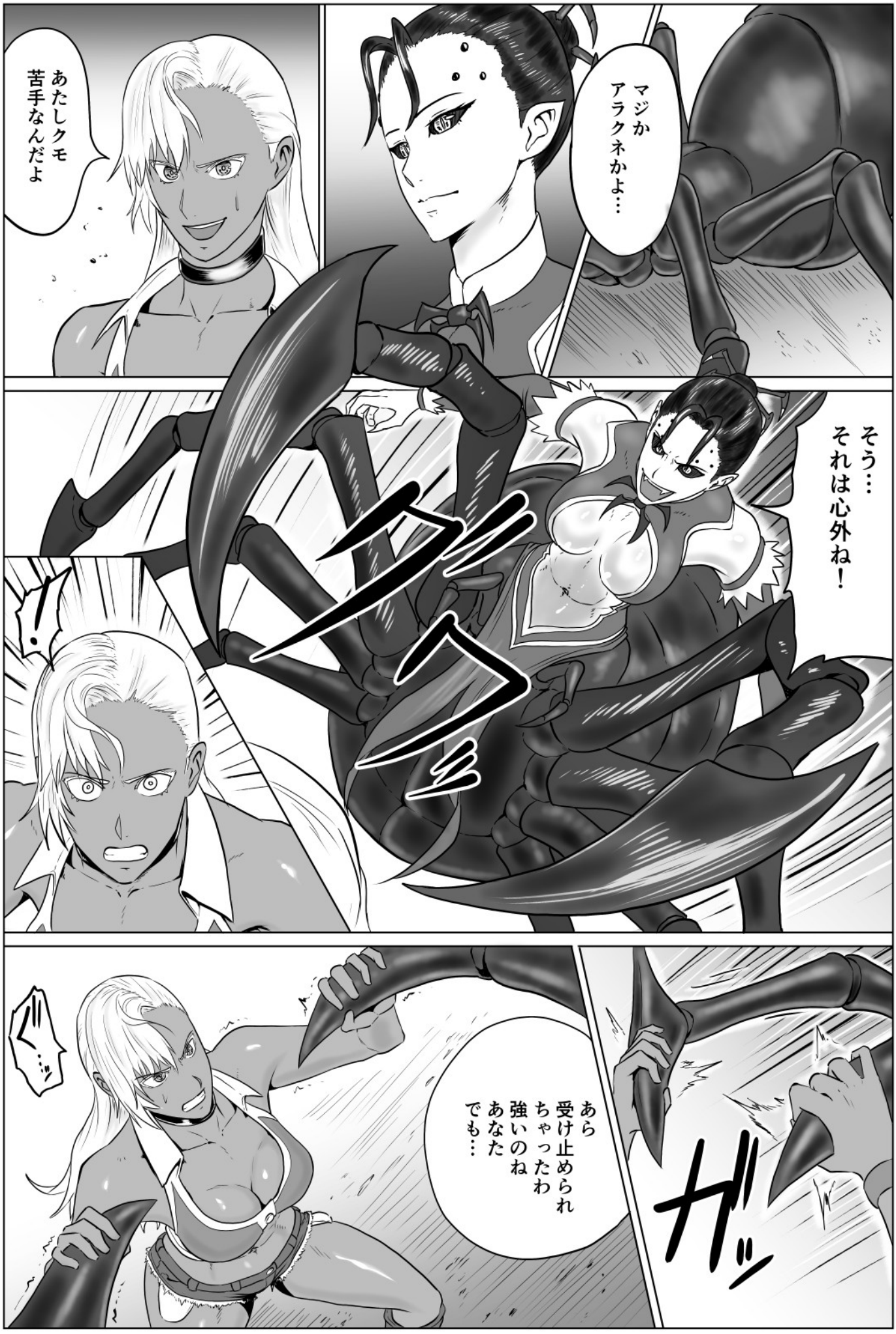

ザッ
ザッ
ザッ
廃工場か…
いかにもって
感じだな
このあたりに
人の気配が
するんだよな
カッ
カッ
きっとこの辺に
行方不明者が
いるはず…ッ


なん…だよ
これ…っ
これ全部
クモの糸
だよな？
まさかクモの
魔物の仕業か？


声っ？
こっちからだ！
ダッ
バッ
おいっ
大丈夫か!?
これは…っ
一体何があったんだ…
待てよっ
この人たち
全員行方不明者
じゃねぇか！


待ってろ
今出してやる
からな！
クソ…
外れないっ
ギチチッ
逃げて…
何言ってんだ！
あたしは助けに
来たんだよ！
違う…
後ろ…っ
えっ？


ダッ
あぁ
ヒュッ
クソッ
なんだ!?
へぇ
今のかわせるのね
すごいじゃない


マジか
アラクネかよ…
あたしクモ
苦手なんだよ
そう…
それは心外ね！
ガッ
あら
受け止められ
ちゃったわ
強いのね
あなた
でも…


腕二本じゃ
足りないわよ！
何っ
他の脚で…！
これは私の
毒針よ
じきに体が
動かなくなるわ
クソ…っ
力が入らないっ！
ガ
あ
あ
ッ!!


クソぉ…っ
これであなたも終わり
もう反撃できないわ
ドクッ
ドクッ
ドクッ
もう
逃げられ
ないわよ
あなた
ガチッ
ダメだ…
力が入らない…っ
ズル


これであなたは私のもの
あたし負けるのか…？こんなところで？
いやっ！
ギュッ
こんなところで終わってたまるか！動けぇぇ！
グイグイ
ヒクヒク
負けるかぁぁっ！
へぇまだ動けるのね意外とタフじゃない


それなら
これはどう！
チュッ
んんっ!?
コイツっ
口から毒を飲ませて…っ
んぶッ
ゴキュ
こんなの…
耐えられないっ
ヒクッ
ヒクッ
んんーーッ!
ガクガク
ヒチャ
ヒチャ
あ…ッ
ガクッ
ヌチッ
やっと落ちたわね
これからたっぷりと
可愛がってあげるわ


な…なんだ!?
やめろっ
あたしに
何してんだっ!
っ!?
服が
脱がされてるっ


あら？
もう起きたの
ッ!?
思ったより
回復が早い
じゃない
ヤメ
ヤメおおお
トスッ
トスッ
トスッ
やめろっ！
あたしの体に
何してんだ！
ドクッ
ドクッ
媚毒を注入して
あげてるのよ
ドクッ
なにっ!?


これからあなたを犯すのよ
は…っ!?
だから気持ちよくするために媚毒を注いでるのよ
レロォ
ハァ…ッ
んなことされてたまるかぁぁ!
グッグッ…
んんんッ
ギチチッ
ブッ
無駄よ
あなたの力なんかじゃ私の糸からは逃げられないわ
クソっ
こんな状況で手も足も出ないなんて…!
ハァ…ッ
ドクッ
ビュッ
ドクッ
ドク
あぁッ
こいつのなすがままじゃねぇか…っ


そろそろいいかしらね
やっと終わったのか…
ハァ
ハァ
よく耐えたわね
後は媚毒が回るのを待つだけね
そんなの効かなっ
ブッ!?
ヤバい…っ体が熱くなってきた
これが媚毒…っ


ヒクッ
ヒクッ
ハァ
ハァ
トロ
トロ
フフフッ
媚毒が効いて
きたみたいね
んなわけ…
ねぇだろ…！


嘘つきなさい
こんなに汗で体が濡れてるくせに
だ…黙れっ
素直じゃないわねぇ
美味しいわぁ発情したあなたの汗♥
やめろっ気持ち悪い…！
そんなに嫌なら止めてみなさいよ
てめぇ…調子に乗りやがって…！


あなた腋が弱いのね
あらっ？
それなら…
あなたの腋
じっくりと
責めてあげるわ


嫌らしい腋ね
こんなところが敏感なんて
恥ずかしくないの？
てめぇ
好き放題言いやがっ
レロッ
あ…フッ
フフッ
強がってても
反応は
可愛いのね
やめろぉッ！
クリュ
クリュ
レロ
レロ
レロ
レロ


クソっ
なんでこんなことで
感じてんだ…っ
媚毒だ…！
そのせいに違いねぇっ
こんなこと
絶対に認めねぇ！
可愛い声ね
そんなに気持ちいいの？
く…っ
うるさいっ！


ずいぶん
強がるじゃない
それなら
いろんなところ
いっぱい責めてあげるわ
ムニッ
スリ
スリ
ルーゴ
クィーゴ
ハッ
ヤクラッ
ヌル
ヌッ
スッ
ンフッ
ツー
クリュ
クリュ
スリ
スリ


可愛い
こんなに
体くねらせて
く…っ
黙れっ！
こんなの全部
媚毒のおかげの
くせに…！
へぇ
じゃあ私の媚毒には
負けたってこと？
ちっ…違う！


この期に及んでまだ強がるの？
ムニュ
でもここを責めても同じ態度でいれるかしら
や…やめろっ！
ヒク
フフフッこんなに乳首勃起させて…いやらしい子ねぇ
ヒク
そんなとこ触ったらただじゃおかないからな…っ！
レロォ
そんなこと言って…本当は触ってほしいんじゃないの？
まぁなに言っても今のあなたには手も足も出ないわ
ムニュ
ムニッ
私のなすがまま
ツーッ
ムニッ
クソっ調子に乗んなよ…っ！


さ〜て
そろそろ触っちゃおうかしら？
ムニュ
ムニュ
ッ!?
いや…っ
やめろっ！
レロッ
どんな反応
してくれるのかしら？
そんなっ
今触られたら…っ
ムニュー
ヤヤラッ
ギッ
ギッ
キュムッ
レロンッ
オホォ
オホォ
オホォ
オホォ


可愛い声
そんなに気持ちいいの？
ヒクッ
んんっ
ヒクッ
ッざけんなっ！
誰がこんなんで
感じるか！
クリッ
クリッ
そう…
ならもっと
責めてあげないとねっ！
グイッ
グイッ
ヒクン
ヒクン
クソがぁっ
調子に乗りやがってっ！
んっ
キュム
ラブッ
キュム
あぁ楽しいっ♥


クリッ
クリッ
コイツ…っ
あたしが慣れないように
ピンッ
ピンッ
グリッ
グリッ
ブラーン
ギュム
ギュムッ
責めを変えてきやがる…！
どう私の責めは気持ちいいでしょ？
キュム
キュム
クリッ
てめぇ…人をオモチャ扱いしやがってぇ…っ！


抵抗の一つもできない
あなたなんて
オモチャ同然じゃない
レロッ
キュムッ
く…っ
これ以上
刺激されたら…！
クリッ
クリ
キュム
キュム
ねぇ
あなたもうイキそうなんでしょ？
違っ
ッ!?
クリリッ
私の目はごまかせないわよ
レロッ
ほらっ
乳首だけで
イカせてあげるわ！
キュムッ
キュムッ
レロッ
レロッ


くぅぅ…っ
乳首なんかで
イカされて
たまるかぁぁ！
ヒクッ
ンンン


もう…ムリッ
これ以上は耐えられない…っ！
ギュム
ギュム
ヒクッ


ッ!?
あうぉおおッ!
イッてるッ!
もうイッてるのにぃぃッ
キュムッ
キュムッ
いいえ
まだまだよっ!
ツンッ
ツンッ
ヤぁぁぁ
おおおおおッ!!
レクッ
クリッ
クリッ
反抗的な態度の
お仕置きよ
このまま乳首で
イキ続けてもらうわ
クリッ
クリリッ
ヤめろぉおおッ!


絶頂から
戻ってこれないのは
つらいでしょ？
ダメよっ
まだ許してあげない♥


ほらっ
もっと責めてあげるわ
グリッ
グリッ
ツン
ツン
どう？
乳首だけで
イカされ続けるなんて
屈辱でしょ？
これに懲りたら
反抗的な態度は
やめることね
グリッ
グリッ
グリッ
グリッ


そろそろ
許してあげようかしら
フフフッ
これで少しは
素直になったかしら
てめぇ…っ
あたしにこんなことして
ただで済むと思うなよ…！
ふーん
まだそんな
減らず口が
叩けるのね


それじゃもっと
お仕置きしてあげる
グンッ
ギチチッ
うわっ
こんなに濡れてるわ
そんなに
気持ちよかったの？
ヌチャア
く…ッ
黙れっ！
フフフッ
これからもっと
気持ちよくしてあげるわ


てめぇ…ッ
よくもあたしのパンツをっ
フルフル!
あなたにはもう
必要ないわ
ヒクッ
ヒクッ
ヌチュ
ヌチュ
ヒクッ
ムニュ
クチュ
クチュ
フフフッ
ずいぶんと
いやらしい音
たてるじゃない


見なさいよ
こんなに
濡れてるわよ
やめろっ
近づけんなっ！
そんな照れてないで
もっと近くで見なさいよ
やめ…ッ
何するっ
コイツ…
あたしの愛液無理やり
舐めさせてきやがる…っ
どう？
美味しいでしょ


おっと
こっちも忘れちゃ
いけないわね
やめろぉ！
この野郎…っ
脚であたしのマンコ
突いてやがる…！


てめぇふざけんなっ！
汚ぇ脚なんか入れやがってっ！
チュポッ
黙りなさいよっ
あなたに口答えする権利
なんてないわよ
どう犯すかなんて
私の自由なんだから
ヌチッ
ヒクッ
ヌチッ
ヌチッ
ヌプッ
ヌプッ
おおッ
そこは…
きもちいおおッ


く…ッ
こいつクリトリスと膣
同時に責めてきやがる…ッ！
ヌチュ
ヌチュ
こんな屈辱…ッ
感じたくないのに
んんッ
フル
もう…
イキそうに…
ねぇ
あなたまた
イキそうなんでしょ？
ヒグッ
今度はこっちで
無様にイカせて
あげるわっ！
ヤメロおおおッ！
ヤメロおおおッ！
違ッ
ヌチ
ヌチ
ヌチ
反応を見れば
すぐに分かるわ


クリ
クリ
フフフッ
ギュム
ギュム
ラブッ
スリ
スリ
早くイッちゃいなさいよ
グリュ
グリュ
あらっ
まだ耐えようとしてるの？
いい加減ムダな足掻きだって
気づきなさいよ
きぎぎぎぎぎッ
ヒクッ
ヒクッ
イッ
あぁっ！
クリトリスが
引っ張られる…ッ！


もう…限界…ッ
またイカされるぅっ！
ギュッ
ズポッ
ズポッ
カキャッ
ヤッ
ヤメェッ
イッ
シャアアア
イグッ
ブッ
ブルルル


フフッ
派手に
イッたわね
あぁっ！
私もそろそろ
我慢の限界だわ
なんだよ…ッ
コレ…ッ！
私の産卵管よ
これであなたの中に
卵を産みつけてあげるわ
いやだ…っ
やめろっ！
私の卵たくさん
孕んでちょうだいねぇ


それっ！
おおおお


あなたのマンコ
とっても締まりがよくて
気持ちいいわぁ
ズッ
ズッ
おおおお


せっかく楽しんでるんだから暴れないでちょうだい
あなたはおとなしく犯されてればいいのよ
苦しい…っ息ができないっ！
クソっこんな時にまたイキそうに…っ
いやだっイキたくないっ！イキた…っ
おおおおおっ！


首絞められて
イッちゃったの？
もしかしてマゾ？
そんな子はイッた後も
責められたら
嬉しいわよねっ！
このまま
イカせ続けてあげる
そんなっ
もうイッたのに…っ


やめろぉぉっ！
この変態クモがぁぁ！
あら
口が悪いわね
そんな子は
もう一本追加で
お仕置きよ
なんで
二本もぉ!?
おぉぉぉぉぉ!!
ズリュ
ズポッ
ズポッ
グンッ
グンッ


ズッ
ズッ
ズリュ
おおおおッ！
なんてこと
をおおぅ！？
あらっ
こっちの穴は
初めてみたいね
どう？
初アナルの感想は
ズッチ
ズッチ
おおおおッ
たまれぇ
んんんんんえッ！
尻の穴が熱い…っ！
くそぉ…っ
感じたくないのにっ
ズッチュ
ズッチュ
こんなの…っ
絶対認めねぇ！


なに耐えようとしてるの？
いまさらそんな抵抗したって
無駄なのよっ！
ボコッ
ズボ
あぁっ！
奥まで突かれてる…っ！
もう我慢できない…っ
また…イカされるっ！
ボコッ
ボコッ
ズボ
ズボ
シャアアア
イッ…ッ…ッ
おおおお


恥ずかしいっ
初アナルで
イッちゃったの？
そう…
ならもっと責めても
大丈夫よね！
素直に認めれば
休ませてあげるわよ
ふーん
まだ抵抗するのね


それっ！
ここ責められるの
好きでしょ
ギュム
ほらっ
早くイキなさいよ！
ンンン


アハッ
もうイキっぱなし
じゃない
意地を張るから
こうなるのよ
クニッ
クニッ
ヒクッ
ヒクッ
おおおおお!!
もうどこでイッてるか
分からないわね
ギュム
ギュム
快感を通り越して
苦しいでしょ
スッチュ
スッチュ
でも大丈夫よ
私ももうイクから
や…やめろぉっ!
ビクン
ビクン
ダメよ
いまさら止められないわ!


おおおおぉ
きもちぃぃぃぃ
やめろぉおおおおおおっ!!
ドピュ
ドピュ
そんな…
卵を産み付けられてる…っ!
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ

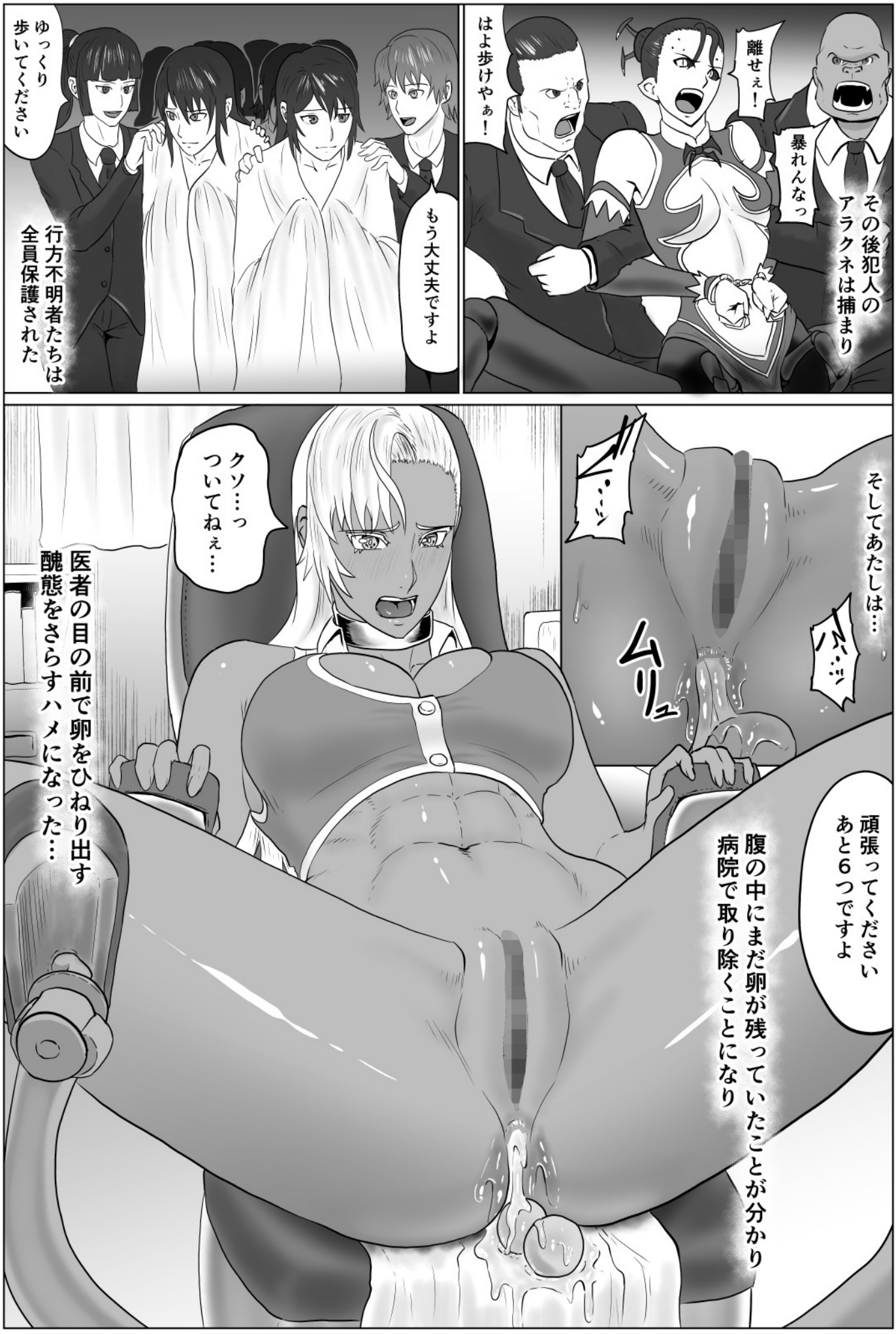

あらっ
マンコが満杯で
こぼれてるじゃない
もったいないわねっ
おおおっ!?
おおおおっ
二本も入れるなおおおっ
どんどん入ってくる…っ！
腹が…苦しい…っ！
おごおおっ


あぁっ
気持ちよかったわ
これであなたも
立派な孕み袋ね
って反応する元気も
残ってないみたいね
まあいいわ
卵がかえったら
また遊びましょう
だからそれまで
そこでおとなしく
していてちょうだい


さて
今度はどの子で
遊ぼうかしら
こんなところで…
終わってたまるかぁ！
ギチギチ
んっ？
なにかしら…っ
ビリリッ
ガブッ!?
あなたっ
どうやって私の糸をっ!?
ガチッ
人間ごときじゃ
破けないはず…っ
その姿…っ
まさかウェアウルフ!?
ご名答…
その通りだぁ！
ガブッ
ギリッ


ざまぁみろっ
今までの
お返しだ…っ！
クイッ
ドサッ
これで終わったな
でも…
産み付けられた卵
どうにかして出さないと
ハァ
ハァ
このまま…
ひねり出せるかっ!?
ふ…ッ!
ン…ッ!
ふ…ッ!
ンンン…ッ!


ッ！
出るっ！
ムリュ
おおおお


その後犯人のアラクネは捕まり
暴れんなっ
離せぇ！
はよ歩けやぁ！
もう大丈夫ですよ
ゆっくり歩いてください
行方不明者たちは全員保護された
そしてあたしは…
ハ…ッ
ムリュ
ンッ…
クソ…っついてねぇ…
頑張ってくださいあと6つですよ
腹の中にまだ卵が残っていたことが分かり病院で取り除くことになり
医者の目の前で卵をひねり出す醜態をさらすハメになった…

